



いなほ

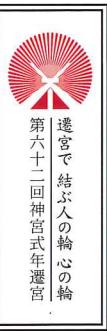
稻積神社社報

第27号

平成19年5月3日発行



正ノ木例大祭式次第





所

宮司 根津泰昇

感

崇敬者各位には、丁亥年の星運を生し、又清めながら益々ご活躍の事とお慶び申し上げます。

当神社の祭典も一月一日の

歳旦祭から始まり、節分祭初午祭、祈年祭等々の祭典と毎月一日の月始祭、三日の月次祭、十五日の神恩感謝祭、本年より斎行されました、昭和天皇祭以上の十四祭儀が滞りなくご奉仕申し上げました。

当神社の重儀であります正の木祭り例大祭は、五月二日の甲府商工会議所の主催による献木祭から始まり、前夜祭三日の例大祭、神輿渡御、四日の二之祭、五日の三之祭、成就祭又祭典期間中には、奉納相撲、歌謡ショーコンサート、神婦人会主催のカラオケ大会、敬年会主催のカラオケ大会、敬神と縁りある神様を祀つてある社を言います。

境内社をこ紹介いたします。境内社とは、稻積神社のご祭神宇迦之御魂大神、大宮能売大神と縁りある神様を祀つてあります。

境内社は大物主大神、大国主大神、金刀比羅神社、

ご祭神は少彦名神、大己貴神。

大己貴神は、大国主大神と同神であるので兄弟神であります。「因幡の白うさぎ」の神話で語られているように、ワニに皮をむかれて丸裸にされて痛がつて白うさぎに、大国主大神の兄神達は「海水に浸かつて、身体を乾燥させなさい」と教えられたが、逆に塩水と太陽の照りつけで身體はもつと痛くなってしまった。

「真水で身体を洗い、ガマの穂で身体をこすりなさい」と手当法

を教えて、直ぐに治りました。

この神話の如く、医薬の祖神である少彦名神と共に力を合せ、医業、医薬、平癒にご神徳のある神様であります。

主大神の別名でありますので宇迦之御魂大神とは兄弟神であります。ご神徳は、農業殖産、魚魂鎮靈、医薬、技芸に徳をもつ神様です。

これより記述する熊野社、瘡子社、甲子社は、戦災で焼失しました。戦前は、本殿北側に鎮座していました。ご鎮座四百年記念事業で北参道に再興された社であります。

ご祭神は素盞鳴尊、宇迦之御魂大神の父神であります。ご神徳は、万般の生業を发展させる開運、繁榮と平和を尊く方災除八岐大蛇退治の神話の如く魔除けの徳があり、人々に幸福、和をもたらす神様であります。

境内社 天満天神社

ご祭神は菅原道真公。社殿は江戸時代の建物で、戦災で焼け残った唯一の社殿であります。棟札には祭神名が仏語で記されておりますので神仏混淆のその時代を象徴しております。ご神徳は学問、文化向上の神様であります。実に昭和の時代を一言で締められた表現ではないでしょうか。

国旗は、日本の歴史、文化伝統、習慣、道徳、先人の思想が込められた象徴が表現されているものと思います。

私達は、幾多の歴史的出来事を思い起し、将来に向けて微力を尽す事が、「生かされている証であり、美しい日本を造る原動力になる」と思っています。

祝日には、国旗を掲揚し、日本の歴史と文化を子に孫に伝えたいものです。

を教えると、直ぐに治りました。この神話の如く、医薬の祖神である少彦名神と共に力を合せ、医業、医薬、平癒にご神徳のある神様であります。

ご祭神は大国王大神、宇迦之御魂大神とは兄弟神であります。最初の組合せであることと、六十回循環し再び巡ってくることで、特に大吉のご神縁を授ける神であります。

最初の組合せであるため事の始めを大切にし、先の安泰を祈願するご神徳である「わかえ信仰」の御石取り、御砂取りをして、家運隆昌、商運繁栄、病気平癒、旅行安全、土地清め、方災除の徳もある。又六十日で一巡するので農作業にも深く関わり五穀豊穣を司る農耕の神であり、開運の神様であります。

境内社 天満天神社

ご祭神は菅原道真公。社殿は江戸時代の建物で、戦災で焼け残った唯一の社殿であります。実に昭和の時代を一言で締められた表現ではないでしょうか。

国旗は、日本の歴史、文化伝統、習慣、道徳、先人の思想が込められた象徴が表現されています。

私達は、幾多の歴史的出来事を思い起し、将来に向けて微力を尽す事が、「生かされている証であり、美しい日本を造る原動力になる」と思っています。

祝日には、国旗を掲揚し、日本の歴史と文化を子に孫に伝えたいものです。

祭典行事歴 (五月～十二月)

毎月

三日 月 次 祭

神恩感謝祭 古神札 焚上げ祭

十五日

正ノ木大祭前夜祭 正ノ木例大祭

五月二日

正ノ木大祭終了祭 伊勢神宮お木曳き お田植祭

三日

大祭特別祈願祭 二ノ祭 三ノ祭

四日

拔穂祭

五日

正ノ木大祭終了祭

六月十日

夏越大祓・満灯祭

七月十五日

瘡子社例祭 富士ヶ嶺開拓祭

十月十日

金刀比羅神社例祭

十一月二十三日

新嘗祭

十二月二日～四日

甲府伊勢講千社詣の旅

琉球一の宮・波之上宮參拝

甲斐の塔慰靈祭と文化・歴史・伝統を探訪する。美らの国 沖縄漫遊三日間の旅

毎月一日、三日、十五日には

神社にお参り

しましよう!!

季節のおまつり

年中行事を楽しむ

—生活に活力を与える年中行事—

お正月の初詣、節分の豆まき、七夕飾り……。これらは日本に

なぜ日本人はこれらの伝統行事には、さまざまないわや起源があります。また、祖先の感性や暮らしの知恵をこめられていて、日本の四季折々の自然風土に調和するかたちで各地に伝えられています。

行事を大切に守り伝えてきた
のでしょうか？

それは季節の恵みへの感謝と、日々無事に生活できることへの喜びを確認する機会として、これらの行事を位置づけてきたからに違いありません。せん。

私たちは伝統行事に思いを寄せ、その行事を味わい楽しんで、家庭生活に活力と潤いを与える機会としたいものであります。是非家庭で実践してみて下さい。

— 1 —

年中行事カレンダー		
睦月 むつき 1月	如月 きさらぎ 2月	弥生 やよい 3月
1日 元旦 成化祭 3日 元宵節 7日 大年 11日 開運日	3日 晴 節分 紀元節	3日 ひなまつり 21日 頃 春分の日
卯月 うづき 4月	皇月 さつき 5月	水無月 みなづき 6月
上旬 花見	5日 猿猴の節供	21日 頃 菓子 30日 大祓
文月 ふみづき 7月	葉月 はづき 8月	長月 ながづき 9月
7日 ヒタチ 21日 頃 土用の丑	13日～18日 岩益 (7月13日～16日の地域も)	9日 露凝の節供 中下旬 秋の名月 秋分の日
神無月 かんなづき 10月	霜月 じしもづき 11月	師走 しわす 12月
中下旬 17日 十三夜 神霊祭	3日 明治祭 七五三 新嘗祭	22日 頃 冬至 23日 天賀祭 31日 大祓



新総代紹介

会長 横森満洲子氏
崇敬会友の会
会長 大森 丘氏
崇敬会いなほ会
会長 佐藤 久良氏
新総代紹介
小林 宏武氏
総代

神道政治連盟山梨県本部
副本部長 小尾 武一

山梨県神社庁理事
神社本庁評議員
宮司 根津 泰昇氏

人の動き

甲府舊警察官友の会々長
その他要職を歴任
黙四等旭日小綬章
山梨県県政特別功績者
等を受賞
引き続き新年度役員の方、
今年度よりの役員総代様方の
御活躍を心より御祈念申し上
げます。

取締役頭取
取締役会長
甲府商工会議所会頭
山梨県長期計画審議会々長
山梨県行政改革委員会々長
山梨県警察官友の会々長

甲府市宮前町三十五
大正十三年七月二十九日生

夏越祓式の
御案内



詳しく述べは社務所までお問い合わせ下さい。

物いふるの神、夏起の神
する人は千歳の命延ぶという
と謳われているようにちの輪
をくぐり邪気を祓い暑い夏を
元気で過ごせるよう願いが込
められています。

大祓は六月三十日と十二月
三十一日の年二回、半年毎に

御案内

